



# どの子ども安心して学び

# 誰もが安心して暮らす！

- 一人一人の子どもが大切にされて、  
ともに学び、ともに育つ鎌倉をめざして
- 平和憲法の理念を生かし、  
市民自治と人権を大切にする鎌倉をめざして
- 障害のある人も、子どもも大人も、  
すべての人が安心して暮らせる鎌倉をめざして
- 自然と生活環境を守り、  
歴史的遺産を次世代につなぐ鎌倉をめざして

**この4年間、全力で取り組んできました！**

鎌倉市議会議員

市政通信 号外 No.2

# 竹田 ゆかり

鎌倉市稲村ヶ崎 5-31-11  
 (携)090-3535-4474  
 (自)0467-32-2007  
 (E-mail)[yukari.ain@gmail.com](mailto:yukari.ain@gmail.com)  
[ail.com](http://www.yukari.ain.com)

## <4年間で実現したこと>

- \* 小中学校普通教室への空調設備設置実現！(2016年度～)  
(2016年度から4年間かけて、全校に設置されます)
- \* 本人通知制度(告知型)導入実現！(2014年度～)  
(住民票・戸籍謄本等から個人情報不正に取得された場合に本人に知らせる制度)
- \* 6年生陸上記録大会に救命救急士配置実現！(2015年度～)  
(安心して子ども達が記録大会に参加でき、養護教諭も学校不在になりません)
- \* 5年生宿泊学習に看護師配置実現！(2016年度～)  
(安心して子ども達が宿泊学習にでかけ、養護教諭も学校不在になりません)
- \* 市職員採用に精神障がい者・知的障がい者枠  
実現！(2014年度～)非常勤枠実現！(2015年度～)
- \* 「就学援助制度の案内」毎年進級時配布実現！  
(これまで、鎌倉市は入学時にしか配布していませんでした)
- \* 歴史文化交流館 開館実現！(2017年度5月～)  
(出土遺物セット学校への貸し出し開始 2014年度～)  
(発掘調査現場での子ども達の学習実現 2015年度～)
- \* 学習支援事業 実現！(2016年秋～)  
(生活困窮世帯の子ども達の学習支援事業ですが、生活相談にも応じます)
- \* 学校敷地外プール用 AED 設置実現！(2016年度～)  
(これまで、緊急時に近くの施設に借りに行かなければなりませんでした)
- \* 歩行者の安全確保のための看板設置実現！(2016年秋)
- \* 緊急地震速報受信機小中学校に設置予定！(2017年度中)  
(これにより、大きな揺れの前に、給食室の火、アルコールランプの火などを消すことができます)
- \* 教職員のための「安全衛生委員会設置検討委員会」(2017年度開始)





小中学校での30年を超える  
教員生活で培った知識・経験  
を生かし、全力で市政に取り  
組んできました。  
地域課題にも、迅速に取り組  
んできました。これからも。

### <竹田ゆかりのプロフィール>

1971年 千葉大学教育学部卒  
1971年～1975年 千葉市立千草台中学校・  
横須賀市立浦郷小学校教員  
1976年 育児のため一時退職  
1983年～2009年 横須賀市立馬掘小学学  
校・桜台中学校・鎌倉市立山崎小  
学校・小坂小学校・御成小学校・  
第一小学校教員  
2009年 定年退職・教育相談ボランティア  
「ゆずり葉」活動開始  
2013年～鎌倉市議会議員(現在一期目)

## 主な一般質問項目

- \* 扇ガ谷一丁目用地活用について (市民や子ども達が、出土物を通して鎌倉の歴史を学ぶ場を…)
- \* 普通教室空調設備設置について
- \* 鎌倉市の公有財産の有効活用について
- \* 新教育委員会制度のあり方について
- \* 障がい者雇用の促進について
- \* 包括予算制度について
- \* 介護保険制度…市の事業のあり方について
- \* 学校教育への文化財の活用について
- \* 本人通知制度導入について
- \* 3年生以上35人以下学級のための非常勤講師増員
- \* 鎌倉市の公文書を、西暦・元号併記に
- \* 社会福祉法人の今後のあり方について
- \* 市民の命とくらしを守る防災・減災について
- \* 鎌倉市の「地域福祉」推進について
- \* 公共施設再編計画(案)について
- \* 「心身ともに元気長寿かまくら」をめざして (高齢者保健福祉計画の中から、認知症など)
- \* 図書館の運営体制について
- \* 教職員の多忙化解消 (給食会計事務負担軽減)
- \* 宿泊学習における医療従事者配置について
- \* 子どもの貧困対策推進計画について
- \* 鎌倉市教育大綱について
- \* インクルーシブ教育について

## 主な討論

- \* 「集団的自衛権行使」を容認する憲法解釈についての意見書(賛成討論)
- \* 婚外子差別撤廃のために戸籍法改正を求める意見書(賛成討論)
- \* 安保関連法案撤回を求める意見書(賛成討論)
- \* 『共謀罪』の新設に反対する意見書(賛成討論)
- \* チーム学校推進法の早期制定を求める意見書(反対討論)

## 議会議案の提案

- \* 「給付型奨学金制度」の創設を含め、奨学金制度の抜本的改革を求める意見書
- \* 原発事故避難者に対する住宅無償提供継続を求める意見書

## 関連質問

- \* 「教科書採択検討委員会報告」に総合評価をつけることに問題がないこと確認

詳しい内容は、竹田ゆかり市政通信1～15号に掲載しています。ホームページにアップされています。

## 「人権・福祉・教育」の視点に絞って「総括質問」を行いました。(2月議会)

<概要> **詳しい内容は16号近日中発行**

●やまゆり園の事件を受けて、今年度市が取り組んだこと、教育委員会が取り組んできたことは何か。学校現場での取り組みは。●インクルーシブ教育をより一層推進していくために、来年度予算に反映されたことは何か。●中心市街地の空き店舗を活用した「障害者就労を支援する店舗」は、障害者理解にもつながり、障がい者と健常者をつなぐ拠点にもなる。設置を検討してはどうか。●近年学校現場では、産休・育休・療休等の代替教職員配置が難しい状況にある。本来いるべき教職員が足りていないことは、即、子ども達の「安全確保」「教育確保」にも支障をきたす。切れ目のない人的配置がなされるための「方策」は検討されているか。●鎌倉市において、「給付型奨学金基金」を創設して「給付型奨学金制度」導入を検討すべきと考えるがどうか。●鎌倉市の小中学校の学習環境は他市に比べ劣っている。(15号に掲載)教育大綱の重点施策の中で「教育環境の充実」が挙げられている。学校配当予算への加算を全額カットする判断・措置は大綱の理念と矛盾する。市の考えは。●体育協会に加盟する種目別31団体に市からの助成金が支給されているが、団体内で起きたチーム間のトラブルにより、現在団体に加盟させてもらえず、公式試合にも出場させてもらえないチームがある。8年前から続いており子どもたちが被害者となっている。市として、積極的にかかわるべきではないか。●子ども達に目の行き届いた教育環境をつくるために、給食会計事務の学校現場からの解放を進めるべきと考えるがどうか。●「歴史文化交流館」の事業としての第一の目的は「子ども達や市民・来訪者が、鎌倉の歴史や文化遺産について学べる施設」、学びの場である。教育委員会が事業に主体的に取り組むべきものとするがどうか。●市の事業を「指定管理者」に委ねることによる、プラス効果・マイナス効果も含めて、「指定管理者導入の在り方」について見直しをする必要はないか。●自治町内会館のない地域のために、市は積極的に空き家の利活用に取り組むべきではないか。